

平成24年1月26日

南の風

南部ミニバスケットボール連盟
会長 藤原 敬一

温かな天候のもと、平成24年が明けました。皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと思います。本年もどうぞよろしく申し上げます。

昨年は地震、津波、原発、そして大雨、洪水など辛い出来事が続きました。多くの尊い命が奪われ、家や財産が失われました。今も厳しい生活を余儀なくされている方々、故郷に戻れない方々がたくさんいらっしゃいます。またこの時間も、福島第一原発では炉心の冷却や安定収束のために、文字通り命をはって作業されている方々もおられます。

横浜に住む私たちは、犠牲になっておられる人たちのことを、決して忘れてはならないと思います。他人事でなく、意識に留め置かなくてはなりません。それは、福島や新潟の原発でつくられた電気を使って、私たちは便利な生活をしてきたということです。今まで、あまり意識しないまま豊かな暮らしを享受してきたのですが、地元の人たちの犠牲と理解に支えられていたわけです。悲しいことも辛いこともしっかりと記憶に残しながら、国民全体がしっかりとした価値観のもと、元気を取り戻して復興へ前進したいものです。

さて、バスケットボールに目を向けてみます。まず、昨年の12月11日（日）に横浜文化体育館で行われた、横浜バスケットボールフェスティバルでは、たくさんの南部チームの選手、指導者、保護者の方が参加され盛大に開催されました。ご協力ありがとうございました。南部選抜チームの選手は男女とも、全力で交歓試合に取り組み、個々の力を発揮しがんばりました。役員の方、選抜チームの指導者に携わって頂いた技術委員会の皆様に、心より感謝申し上げます。

そしていよいよ平成23年度全国大会神奈川予選決勝トーナメントが始まりました。南部連盟から出場している男女チームの健闘をお祈りします。全国大会出場を目指して頑張ってもらいたいと思います。

また、南部連盟の行事としては、今年度最後の公式戦となります南部冬季大会も始まりました。6年生にとってはミニバスケットボールの最後の公式戦です。各チームでそれぞれが培った力を思う存分発揮して、くいのない試合をしてほしいと願っています。6年生の健闘を祈っています。

次に、元日より東京体育館、代々木競技場で行われた全日本総合（オールジャパン）バスケットボール大会について触れておきます。男子はトヨタが優勝し、女子はJXが4連覇を果たしました。私も何試合か観戦しましたが、今年は金沢総合高校がベスト8入りを成し遂げました。高校生のチームがベスト8に残ったのは、何と49年ぶりだそうです。皆さんの中にも金沢総合高校の試合を観戦した方がたくさんいらっしゃると思いますが、改めて『バスケットボールはシュート力だな』と感じました。

最後に、今年はオリンピックイヤーです。日本は、男女ともまだ出場を決めていません。難関だとは思いますが、ぜひ頑張ってロンドンの舞台に立てるようにみんなで応援したいと思います。